

放課後デイサービス 所属職員の事業所評価の集計結果 (公表)

公表: 令和6年3月

アンケート期間: 令和6年2月1日～令和6年2月16日

事業所名 ほっとルーム柴田

職員数 5名 回収数 5名 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			10名の利用定員が活動できるスペースを確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	2		人員配置基準は満たしているが、個別対応や支援の質の向上を踏まえると不足していると感じることがある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		4	1	駐車場から入り口までスロープがあるが屋根がない。室内やトイレは車椅子に対応出来る広さを確保しバリアフリー化されているが、車椅子で屋上に行くことができない為、対応が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5			日々、職員間で支援の目標に対する振り返りを行い業務改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			毎年アンケート調査を実施し保護者様の意向を踏まえ改善に取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			令和6年3月公表。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1		事業所内のみならず外部評価による業務改善が必要。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	1		定期的に社内研修は行っているが、今後外部研修への参加時間を確保していきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			保護者様のニーズや児童の発達状況及び目標を職員間で周知し個々に合わせた計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、適宜職員間で情報交換し、支援に繋がっているか	5			日々の様子を都度職員間で共有し支援を行っている。
適切な支援の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			支援計画に基づいてプログラム作りを行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			季節行事を取り入れる等プログラム内容に変化をつけている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			個々の発達状態に合わせ課題づくりを行い支援している。
適切な支援	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			個々の状況や発達状態を踏まえて個別活動及び集団活動を計画し取り組んでいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5			支援開始前に毎日ミーティングを行い、前日の申し送りと当日の支援の留意点など適宜確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5			支援終了後に振り返りを行いその日の出来事を職員間で共有している。

援 の 提 供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につながっているか	5		日々のケース記録に加え、児童の様子に変化が見られた際などは別紙に詳細を記録している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5		6ヶ月ごとにモニタリングを行い計画の見直しを行っている。見直しの必要があると判断した場合は6ヶ月より前にモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	5		管理者ミーティングにおいてガイドラインの確認を行い職員全体に周知し支援を行っている。
係 機 関 や 保 護 者 と の 連	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者との連絡を密にして、利用者が適切な利用ができるようにしているか	5		定期的に相談事業所と連絡を図り情報共有し、適切な支援に向け検討を行っている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5		学校や保護者様を通じて、年間行事予定や下校時刻の確認など都度必要な情報共有を行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3	現在医療的ケア児に該当する児童の在籍がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5		就学前の情報については、相談事業所を通して情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5		放課後等デイサービスにおいて行ってきた支援やそれに対する評価など相談支援事業所を通して就労先へ情報提供を行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	専門機関との連携や研修参加の機会を今後更に確保していく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	交流については保護者様や児童のニーズや必要性に応じ参加の検討を行っている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	参加の機会自体が少ないが、機会があれば参加を検討している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		日々の支援状況及び発達状況を保護者様に伝え、共通理解を図りながら支援を行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してのペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5		子どもとのより良い関わりについて保護者様と支援の統一を図っているが、ペアレントトレーニングプログラムの実施は行っていない。
保 護 者 へ の 説	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		運営規定、支援内容、利用者負担などについては契約時に必要な説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		連絡帳や日々のフィードバックにおいて相談にに応じている。必要に応じ面談も適宜行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5		年に1～2回保護者会を開催し、保護者様同士の交流の機会を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	苦情があった際は即座に職員全体で改善に向けた対応策を検討し迅速な対応に努めている。

明責任等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5		毎月活動予定及び活動報告を作成し、行事予定や活動の様子を発信している。	
	35	個人情報に十分注意しているか	5		十分に注意し管理を行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		日々のフィードバックや連絡帳で保護者様への情報伝達を行っている。児童と意思疎通の為には今後も様々な取り組みが必要。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5		昨年は地域住民を招待し芋煮会を行っている。今後は地域住民と共に夏祭りを検討している。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		2	3	緊急時や防犯、感染症対応について研修は行っているがマニュアル策定や保護者様への周知はできていない為、改善に努めていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			年に2回避難訓練(火災・地震)を計画し実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			虐待防止研修の機会を確保し、虐待チェックリストを用いて支援の振り返りを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			契約時に身体拘束に関する説明を行い、やむを得ず身体拘束を行う場合の同意を得ている。個別支援計画書の特記事項には行動制限についての記載をしている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5			アセスメント時に食物アレルギーの有無について確認しているが、現在は対応が必要な児童がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			ヒヤリハットの事例を職員間で共有及び記録し再発防止に努めている。